

第2学年 技術・家庭科（技術分野） 学習の指針（シラバス）

1. 学習の目的（教科の目標）

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

2. 学習計画

	学習項目	学習のねらい	
基礎・基本 エネルギー変換の技術の	電気の供給と利用・機器のしくみと保守点検		
	①身の回りにおけるエネルギー変換の技術	・身近な機器のしくみを知る。電気回路の基本的な構成を知る。	
	②電気の供給と利用、エネルギー変換のしくみ	・電気エネルギーとそのエネルギー源について知る。 ・電気エネルギーを変換するしくみを知る。	
	③電気回路と回路図、電気機器の保守点検	・簡単な電気機器の保守点検を知り、家庭で安全な使い方を知る。	
	④運動の利用	・身近な機械と動力や保守点検について知る。	
術による問題解決 エネルギー変換の技	電気エネルギーの変換を利用した製品の製作		
	機器の製作	①工具の使い方	・ニッパ、はんだごて、ドライバーなどの使い方を知る。
		②配線図の読み方	・どのように各部品が結ばれているのかを知る。
		③はんだ付け	・はんだ付けのやり方を知る。（作品製作）
		④組立作業	・組み立てと動作確認をする。
⑤製作の反省・発表		・製作過程での苦労や、感想などが発表できるようにする。	
情報	① 情報モラル	・情報モラルや著作権、個人情報などの重要性について知る。	
生物育成	生物育成の技術の基礎	・作物、水産物の栽培、動物の飼育などに関する技術を考える。	
	作物の栽培	・一般的な作物の栽培方法を知り、育成実践を行う。	
	動物の飼育	・教科書・インターネットを活用し、理解を深める。	
	水産物の栽培	・教科書・インターネットを活用し、理解を深める。	

3. 評価

観点項目	評価の方法
知識・技能	・提出物(チェックシート・プリント・ワーク) ・定期テスト・実技テスト(製作過程において)
思考・判断・表現	実習・作品・レポート・チェックシート・定期テスト・学習の記録
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み(作品・ふりかえり・定期テスト)・提出物(チェックシート)・学習の記録

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

技術分野は、技術という方法・手段を学ぶとともに、自身の能力である技能を伸ばしていく教科です。様々な技術を通して自身の技能を高められるように授業や課題に全力で取り組んでください。その中で様々な困難に直面すると思います。そうしたことを解決するために努力する中で自分の課題解決能力を高めていき、確かな学力を身に付けていってほしいと思います。また、週1回の授業に集中して取り組んでください。